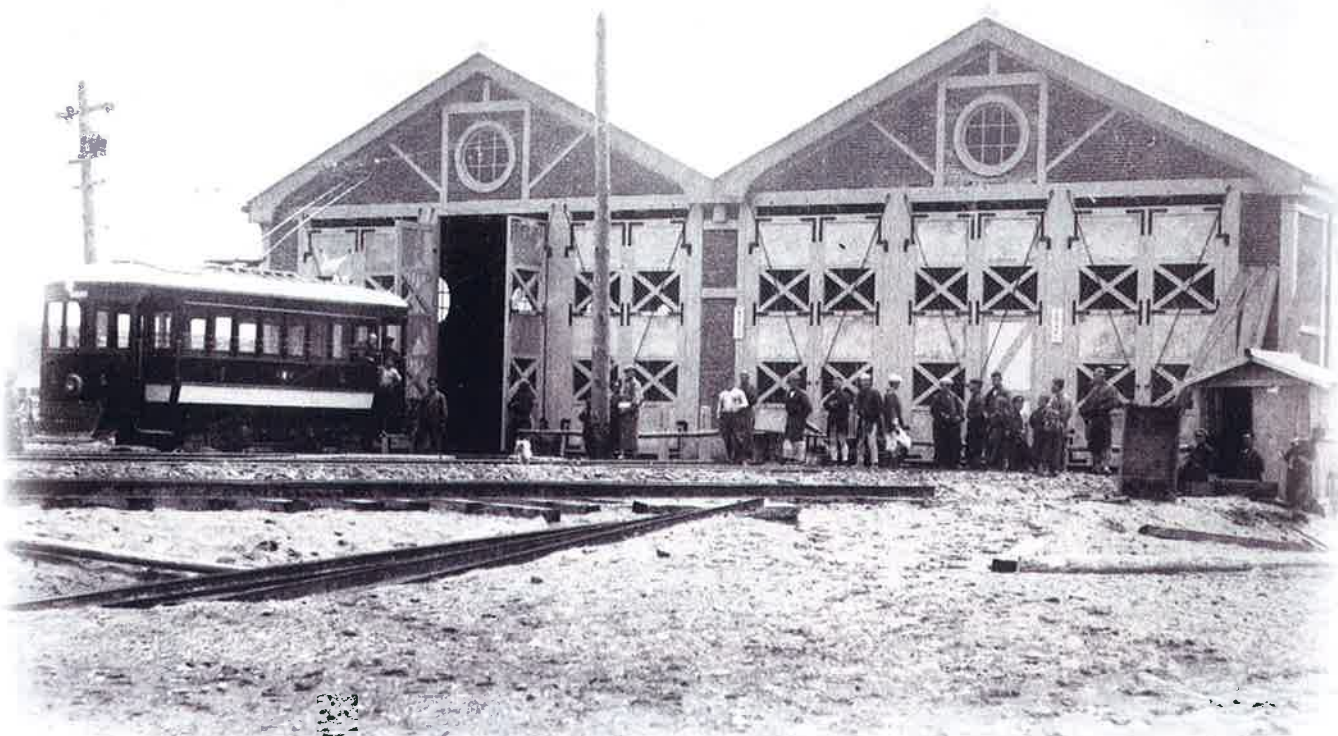


ともえ

2013

4

No.360



CONTENTS

平成25年度
事業計画・収支予算が決定

- ◆ 会員Now..... P12
- ◆ ご案内..... P14



旅が、仕事が、暮らしが、街が変わる。

2015 新函館開業





「本格焼売シリーズ」



新鮮な素材を使ったボリューム満点のシューマイです。
個性あふれる4種類の味わいで新登場。



■ 本格いかしゅうまい
[内容量] 6個入
価格 1,000円(税込)



■ 本格えびしゅうまい
[内容量] 6個入
価格 1,000円(税込)



■ 本格ほっけしゅうまい
[内容量] 6個入
価格 1,000円(税込)



■ 本格毛がにしゅうまい
[内容量] 6個入
価格 1,200円(税込)

速報! 第57回函館圏優良土産品推奨会[函館市長賞]受賞!
「一夜干し焼いか(唐辛子)」2枚入 700円

「かくまん」製品ははこだて海鮮市場各店で好評販売中です。



株式会社 かくまん
〒041-0812 北海道函館市昭和3丁目26-19
E-mail: kakuman@host.or.jp FAX: 0138-45-5168

ご注文・お問い合わせは
 (0138)-45-5118

HAKODATE FACTORY.
FRESH SEAFOOD MARKET SQUARE.

平成25年4月10日発行(毎月1回10日発行)

函館商工会議所報

ともえ

4月号

(通巻360号)

■今月の表紙

「電車々庫」

写真は、新川車庫(現・北海道電力函館支店)を撮影した大正初期と推察される一葉です。新川車庫は、昭和9年の函館大火で被災し、駒場町に代替施設が設置され現在も車庫として使われています。

当市の路面電車は大正2年に、それまでの馬車鉄道に代わって、北海道で初めて開業し今年、100周年を迎えました。

(函館市中央図書館所蔵)



CONTENTS

2 会議所のうごき

平成25年度 事業計画・収支予算が決定

- 第5回通常議員総会
- 青函商工会議所会員事業所パートナーシップ構築懇談会
- 総務委員会
- 観光・飲食・サービス部会
- 平成25年度新入社員セミナー
- 函館・北斗・七飯経済団体協議会
- 第57回函館圏優良土産品推奨会
- JAL函館-大阪(伊丹)線の再開初使出発式
- 議員会
- 女性会
- 青年部
- 今後のうごき

8 中小企業相談所だより

- マル経融資
- 中小企業PL保険制度
- 経営セーフティ共済
- 個別専門相談日程

10 新入会員ご紹介

11 新幹線情報

12 会員Now

- 老舗のお店：舶来居酒屋杉の子

13 商工会議所活用レシピ

- 定期健康診断割引制度：(株)男爵倶楽部

言葉の力

14 ご案内

- 第57回函館圏優良土産品推奨会受賞商品一覧
- CCIS発刊
- ジェトロ北海道・函館相談窓口が開設
- 事業主の皆様へ(お願い)

16 連載コラムトレンド通信

- 地域発ヒット商品を開発するための落とし穴

広告掲載企業

(株)かくまん	表紙裏
(株)SHR函館	裏表紙裏
(株)損害保険ジャパン	裏表紙
(業)英知国際特許事務所	段下
佐藤木材工業(株)	段下
中小企業基盤整備機構	段下
昭和製菓(株)	段下
(株)日本マネージメント・リサーチ	段下
龍文堂印刷(株)	段下
日本経済新聞社札幌支社	折込
サービス情報マガジンCCIS	折込
東商検定パンフ	折込
商工会議所ニュース	折込

平成25年度 事業計画・収支予算が決定

第5回通常議員総会

第5回通常議員総会を去る3月27日、正副会頭をはじめ101名(うち委任出席43人)が出席のもと、函館国際ホテルにおいて開催しました。

議事では、前段の常議員会にて承認された2件を含む4件の報告事項(陳情要望活動、部会委員会活動、就業規則、新会員の加入)をそれぞれ報告するとともに、平成25年度事業計画並びに収支予算について審議を行い、原案のとおり承認されました。

本所は、平成25年度の基本方針として次の4つの活動を柱として、中小企業への支援、会員に信頼される迅速かつきめ細かなサービス提供をはじめ各種事業を積極的に展開し、地域に根ざした存在感ある商工会議所を目指します。

- バランスある産業構造の形成
- 高速交通体系の進展による地場産業の広域展開(南進政策)
- 函館市経済活性化戦略会議の活動推進および近隣商工会との連携強化
- 常議員会、部会、委員会活動の活発化と組織財政基盤の強化



■平成25年度 事業計画

※は新規事業

中小企業の経営課題への対応

- 中小企業金融円滑化法終了を踏まえた支援態勢の構築
 - ・小規模事業者の経営改善に向けた無担保・無保証人の融資制度「小規模事業者経営改善資金」(通称「マル経資金」)の活用促進
 - ※「マル経融資利子補給制度」取扱いの1年延長
 - ※中小企業の安定的な経営継続に向けた「金融円滑化特別相談窓口」の設置による資金繰り、経営計画、企業再生などの相談対応
 - ・北海道、函館市などの低利な制度融資の積極的斡旋
- 消費税対策
 - ※今後予定されている、消費税率の引き上げや制度変更への円滑な対応に向けた講習会、情報提供など「消費税対策事業」の実施
- 雇用対策
 - ※会員企業の雇用需要・動向等についてのアンケート調査の実施
 - ・平成26年度社員採用に向けた「合同企業説明会」の開催
 - ※北海道商工会議所連合会との共催による函館地区に所在する企業が札幌地区で参加できる企業説明会の開催
 - ・企業の人材確保に向けた雇用対策事業の積極的推進と激変する雇用関連法制度の周知徹底
- 環境対策
 - ・中小企業が取り組みやすい環境規

- 格「北海道環境マネジメントシステムスタンダード(HES)」の推進
- ※環境経営の取り組みを進める企業を支援する「環境コーディネータ派遣事業」の実施
- 経営支援機能の充実
 - ・経営指導員等による積極的な巡回訪問による、中小企業施策・支援制度などの活用提案および情報の提供
 - ・弁理士、弁護士、公認会計士などによる専門的かつ高度な個別相談の実施
 - ・各支援機関との連携および専門家派遣事業などの活用による、多岐に渡る経営課題への取り組みと経営改善計画・ビジネスプランの策定支援
 - ・創業・新分野進出など企業の新たな取り組みを支援する本所「新規開業者利子補給制度」取扱いの1年間延長
 - ・会員企業の経営力強化と底上げをめざした効果的なセミナー・講習会などの開催
 - ・企業経営に係る法令、施策、支援制度などの積極的な情報発信
- ※海外市場展開など国際化への対策
 - ・日本貿易振興機構(ジェトロ)などとの連携による国際取引への支援

北海道新幹線開業を見据えた まちづくりの推進と地域の活性化

- 北海道新幹線新函館開業に向けたまちづくりの推進

- ・北海道新幹線新函館開業対策推進機構ならびに新幹線青森・函館早期開業促進期成会の事務局運営を通じ、既存の観光サービス点検評価と持続可能な事業スキームの再構築、事業の担い手である市民や事業者の育成とホスピタリティの強化、首都圏・北関東・東北地区へのプロモーション活動の推進など、新幹線時代に必要な基盤整備と地域の魅力の更なる向上のため、各種事業の積極的な実施
- 中心市街地等の活性化
 - ・中心市街地活性化協議会による情報交換・調査研究、ならびに中心市街地活性化基本計画への意見提言
 - ・中心市街地エリアへの新規事業所の積極的な進出を促すため、本所「新規開業者利子補給制度」の利子補給率を上乘せする優遇適用の実施
 - ※中心市街地での集客拠点の創出と商業の活性化に向けた接客・接遇の講習、また必要に応じた個店の店舗診断の実施
 - ・函館市商店街連盟の事務局運営と地域商業の振興、地域コミュニティの担い手としての商店街の育成に資する各種事業実施
- 地域資源を活用した地域活性化の推進
 - ・地場産業の広域化に関する企業動向調査および研究
 - ・函館市経済活性化戦略会議の活動推進
 - ・函館・北斗・七飯経済団体協議会の事業活動など、近隣商工会等との

- 連携による広域事業の実施
- ・函館らしさを創出する地域資源の活用と函館ブランドの確立
- 函館国際水産・海洋都市構想の推進
 - ・国際水産・海洋総合研究センターの整備運営等に関する協力連携
- 産学連携の推進
 - ※当地域振興発展に資する新技術等創出支援のため、地域の高等教育機関・研究機関等とのより積極的な連携推進、ならびに本所部会委員会における新技術等の勉強会開催と事業活用等への検討推進
- 北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の推進
 - ・勉強会等開催による特区制度の周知および活用促進
- 青函経済圏における連携および交流の促進
 - ・青森商工会議所との会員企業パートナーシップ交流事業をはじめとする経済連携事業の推進
 - ・弘前商工会議所との観光ツアー造成ならびに地場産品の相互展開など経済連携事業の推進
 - ・青森、弘前、八戸等北東北地域との広域経済圏形成に向けた活性化策の推進
- 観光振興の促進
 - ・各種コンベンションおよび積極的な観光プロモーション活動等による国内外からの観光客誘致促進
 - ・新幹線時代を見据えた首都圏・北関東・東北地区への誘致活動の推進
 - ・体験・滞在型観光および産業観光の推進とはこだて観光圏の推進
 - ・観光土産品ガイドの発行
 - ※大阪（伊丹）線をはじめ、国内路線の利活用促進
- 国際化への取り組み
 - ※台北定期便の利活用促進
 - ・国際姉妹都市や東アジア地域に加え、シンガポール・タイなどとの経済および人的・文化的交流の推進
 - ※道南台湾観光友好協会の事業活動を通じ、台湾とのさらなる観光連携強化と、函館市、北斗市、七飯町それぞれの特産品等を中心とした経済交

- 流の推進
- ・地域企業の国際化を担う人材の育成に関する支援

地域社会や会員の声を反映した提言・意見活動の推進

- 地域経済振興のための国・北海道・函館市等への要望活動等の推進
 - 国・北海道・函館市等が発注する地域大型建設工事等に対する地元企業受注機会の確保要請
- 北海道新幹線の早期完成
 - ・新函館駅の早期開業に向けた要望
 - ・新函館駅と現函館駅間の鉄道アクセス充実に関する要望
 - ・建設工事資材等の地元企業受注機会の確保要請
- 高速幹線道路の整備促進
 - ・北海道縦貫自動車道の七飯～大沼公園間の早期着工要請
 - ・函館新外環状道路の早期完成に向けた整備促進要請
 - ・函館江差自動車道の北斗茂辺地～木古内間の整備促進と木古内～江差間の整備計画区間への昇格要請
 - ・幹線臨港道路湾岸線の函館～北斗間早期完成の要請
- 函館港の整備促進
 - ・北ふ頭複合一貫輸送ターミナルの早期完成に向けた整備促進
 - ・コンテナ船定期航路の安定・維持および物流拠点機能の強化と旅客船等の誘致促進
 - ・若松地区旅客船ふ頭・弁天地区ふ頭の整備促進
 - ※災害時多目的船の整備ならびに函館港の母港としての活用要請
- 函館空港の機能充実
 - ・国管理空港の上下一体民営化問題に関する調査、研究
 - ・国内航空路線網の拡充および輸送枠の確保
 - ・国際航空路線の利用促進および国際チャーター便運航拡大と新たな定期航空線の開設
 - ※北海道エアシステム（HAC）の丘珠・三沢便就航時における、丘珠・

- 函館便の一部について三沢空港までの延伸要請
- ※大間原発建設再開の無期限凍結要請と地域振興を見据えた再生可能エネルギーに関する調査、研究

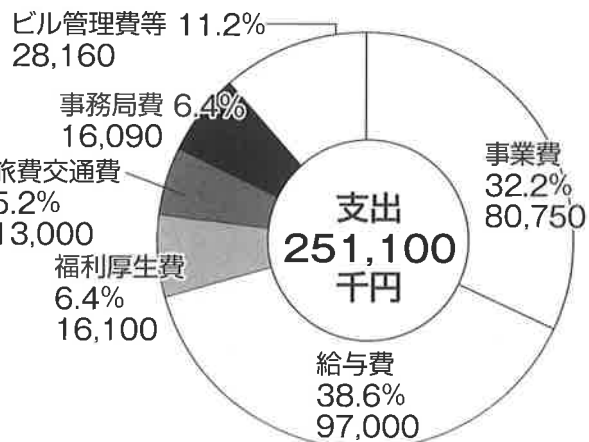
会員と地域に密着した事業の展開および会員サービス事業の充実・拡大

- 会員交流会・異業種交流会の実施
 - ・会員同士の交流を目的とした新入会員交流会や出先機関の支店長等交流懇談会の開催
 - ・ビジネスマッチを目的とした名刺交換会・情報交換会の開催
- 会員企業への訪問強化と要望等の取りまとめおよび情報提供
- 会員企業従業員の福利厚生支援のための健康診断割引サービス事業の実施
- 各種共済制度およびPL保険、火災共済等の充実と普及促進
- 会議所報「ともえ」のさらなる内容充実とホームページ、FAX通信・Eメール等活用による各種情報の迅速な提供
- 商工会議所の企業情報サイト「ビジネスモール」など、インターネットサービス利活用の促進

組織、財政、運営基盤の強化

- 常議員会・部会・委員会の積極的な開催による会議所活動の充実強化
- 会員増強と財務基盤の強化
 - ・財政基盤強化のため、会員増強キャンペーンの実施
 - ・新生命共済制度・業務災害補償プラン等への加入促進および本所と提携するアクサ生命ベストウイズクラブ（BWC）キャンペーンの推進
- 人材育成と組織の活性化
 - ・女性会ならびに青年部への事業支援と政策協議、および若手経営者の育成
 - ・各種セミナー・講習会等の開催
 - ・簿記・珠算・各種ビジネス検定・はこだて検定等の実施による人材育成
 - ・第71回全道珠算競技大会の実施
- 事務局体制の充実・強化

平成25年度 収支予算



青函商工会議所会員事業所 パートナーシップ構築懇談会

青函両地域から30社47名が参加し商談会を開催

本所会員企業と青森商工会議所の会員企業による会員事業所パートナーシップ構築懇談会を去る3月21日、ロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、本所青函圏委員会の久保副会頭をはじめ委員会メンバー5名と議員・会員企業から22社28名、青森から青函圏交流特別委員会の倉橋委員長をはじめ議員・会員企業の8社19名が参加し、第1部では、青森側企業が1社10分程度の事業提案説明があり、第2部では各企業のブースに分かれ個別商談会が行われました。

主催の青函圏委員会では、今回の事業も含め北海道新幹線開業を見据え青函経済圏を強力なものにするため、去る3月11日に青森市で開催された「広域観光フォーラム」のパネリストとして中野委員長が参加、3月19日には函館で開催された「新幹線がつくる新しい『北の縄文交流』の時代」と

題したフォーラムに折谷副委員長がパネリストとして参加するなど、青函圏の連携事業をなお一層推進しております。

また、今年秋までには第2回のパートナーシップ交流会を青森市で開催する予定ですので、会員企業の参加出展につきまして、ご協力宜しくお願いいたします。



▲青函会員企業による個別商談会

■総務委員会

平成25年度事業計画・収支予算案を協議

総務委員会を去る3月11日、佐藤副会頭をはじめ11名が出席のもとロワジールホテル函館において開催しました。

委員会では、平成25年度の事業計画・収支予算案並びに4月1日より改正・施行となった高年齢者雇用安定法に伴う本所規程の一部改正について協議、最終調整が行われたほか、事業計画を踏まえ、各事業の推進に向け、情報発信や各分野における目的の明確化、また、部会を中心に会員一丸

となって取り組む体制づくりの必要性など、活発な意見交換が行われました。



▲開催に先立ち挨拶する社委員長

■観光・飲食・サービス部会

青森商工会議所との意見交換会を開催

本所観光・飲食・サービス部会と青森商工会議所観光サービス部会の正副部長による意見交換会を去る3月21日、ロワジュールホテル函館において開催しました。

当部会は、青森側からの呼びかけにより行われ、当日は「青函交流は行ってきたが形になっているものが少ない」「具体的な事業連携を進めるために何から取り組むか」「お互いの地方紙に情報発信の機会を増やすように要請する」「青函連携の旅行商品を作り教育旅行を誘致する」など活発な意見交換がなされ、今後は具体策を推進するための会議を定期的で開催するという方針が確認され終了しました。



▲青函圏交流について意見交換を行う両正副部長

■平成25年度新入社員セミナー

116名の新社会人がビジネスマナーを習得

本所、(公社)函館法人会共催による平成25年度新入社員セミナーを去る3月22日、116名の新社会人が参加のもとホテル函館ロイヤルにおいて開催しました。

同セミナーは、新入社員が社会人として必要とされる基礎知識やビジネスマナーなどを習得し、即戦力として企業に貢献できるよう毎年開催しているもので、当日は、(有)オフィスK代表の藤本恭子氏を講師に迎え、「ビジネスマナーの基本」「話し方と敬語法」「信頼される電話応対」「接客応対のマナー」「仕事の進め方」などの研修に加え、函

館市市民部三浦主査より「社会人のためのお金の話」と題した講演が行われ、参加者は熱心に受講しました。



▲名刺交換をはじめ社会人としての基礎知識を学ぶ参加者

■函館・北斗・七飯経済団体協議会

道南圏の魅力が向上するための施策を協議

函館・北斗・七飯経済団体協議会を去る3月26日、本所広域連携委員会と亀田・東・北斗市・七飯町の4商工会から、会長、副会長をはじめ17名が出席のもと、函館市縄文文化交流センターにおいて開催しました。

当日は「縄文遺跡群の世界遺産登録と地域観光振興」と題し、同センター阿部館長より、縄文文化を通じた地域との関わりや世界遺産登録への取り組み等についての講話が行われ、講話後の意見交換では、「北海道新幹線の開業に併せて、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指す中で地元をどのように盛り上げ、地域として普及活動やPRをしていくか」や「日本を代表する歴史と文化を持った道南全体の観光振興のため、函館・北斗・七飯の道南圏が一体となって地域の魅力を高めるよう取り組んでいきたい」といった活発な意見が出されました。



▲阿部館長の講話を聞く出席者

■第57回函館圏優良土産品推奨会

出品商品の中から函館市長賞など各賞が決定

第57回函館圏優良土産品推奨会を去る3月28日、ロワジールホテル函館において開催しました。

当推奨会は、地域を訪れる観光客に適正な表示と包装の観光土産品を提供するとともに、道南地域を代表する優れた土産品を発掘、育成するために行っており、当日は、農水産・菓子・民芸の各部門に道南地域の企業26社から新製品など、昨年を大きく上まわる70点が出品されました。

第一次審査では過大包装や不当表示、表示義務などを厳正に審査し、合格品となった商品を対象に郷土色、品質、価格、味覚などの第二次審査を行い、その中から受賞商品（14頁参照）が決定しました。



▲過大包装や不当表示などの審査を行う一次審査

■JAL函館—大阪(伊丹)線の再開初便出発式

8年ぶりの運航再開を記念しテープカットを行う

日本航空(JAL)の函館—大阪(伊丹)線が8年ぶりに再開されたことを受けて、初便の就航に併せた出発式が去る3月31日に行われました。

同路線は2005年から運航が休止されていましたが、工藤市長、松本会頭ら関係者による地域の要望活動が実り再開されたものです。

当日は松本会頭をはじめ地元関係者に加え、JALの上川取締役専務も参列して盛大にテープカットが行われ、また同便に搭乗されたお客様を見送りました。

同路線は50人乗りの小型ジェット機ながら、全席革張りの高級感のある機内が特徴で1日1往復

の就航。関西との交流拡大が期待されています。



▲就航再開を記念してテープカットを行う松本会頭

■議員会

新たな輸出・輸送サービス事業について学ぶ

議員懇話会を去る3月11日、加藤会長をはじめ議員40名が参加のもとロワジールホテル函館において開催しました。

当日は、「北海道発の海外ビジネス拡大に向けて」と題し、函館開発建設部の橋詰次長をはじめ、道開発局(札幌)より三岡氏、佐々木氏、ヤマト運輸(株)の鳥取室長の4氏を招き、共同で取り組んでいる新たな事業についての説明会を行いました。

説明会では、シンガポールや香港を対象に、ダンボールなど小口荷物を安価で取引先へ送ることができる「北海道国際輸送プラットフォーム」をはじめ、同サービスを利用して海外の20飲食店にサンプル食材を送り、アンケートにより反応を受け取ることができる「サンプル輸送事業」が紹介されたほか、台湾など対象国の拡大予定等についても触れ、参加者はリスクが小さいことや、現在注目されているアジアとのビジネスチャンスとあって、熱心に聞き入っていました。



▲講師の説明を熱心に聴講する参加者

■女性会

日本銀行函館支店中川支店長を招いての講演会

3月例会を去る3月6日、内山会長をはじめ26名が参加のもと、料亭富茂登において開催しました。

当日は、日本銀行函館支店長の中川忍氏を招いての昼食懇談の後、「『アベノミクス』の論点～経済の反応と成長戦略の1つとしてのエネルギー革命～」と題しての講演が行われました。

講演では、安倍首相が「三本の矢」として掲げる、「強力な金融緩和」や「積極的かつ迅速な財政発動」、更には「成長戦略」について、それぞれの内容と狙いが、大変解かり易く説明され、明るい未来へ、少しずつでも歩みを進める強い意志が感じられる内容に、出席者は熱心に耳を傾けていました。



▲中川支店長を囲んでの集合写真

■青年部

創立10周年記念講演会・祝賀会を開催

青年部創立10周年記念講演会・祝賀会を去る3月16日、花びしホテルにおいて開催しました。

当日は、記念事業として一般市民も含め約550名が出席のもと、富良野市在住の脚本家倉本聰氏を講師に招いて「当たり前前の暮らしを求めて」と題し、経済・環境・文化がバランスを保った真の文明社会を目指そうとの、講演をいただきました。

また祝賀会では、来賓をはじめ約130名が出席の

もと、高野会長の挨拶の後、工藤市長、松本会頭からご祝辞をいただき、歴代会長への感謝状贈呈、次年度須田会長の紹介が行われ、節目の年を盛大に祝い、青年部の今後ますますの発展を誓いました。



▲倉本聰氏を講師に迎えた講演会

■今後のうごき

【3月28日現在】

4月	
17 (水)	金融個別相談
18 (木)	青函圏委員会
23 (火)	女性会平成25年度定時総会・講演会・懇親会
24 (水)	発明相談
25 (木)	観光・飲食・サービス部会幹事会、懇談会
26 (金)	平成25年度道南商工会議所連絡会議 法律相談 みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会総会・推奨会表彰式
5月	
8 (水)	経営相談
14 (火)	保証協会個別相談
15 (水)	金融個別相談

記事重複のお詫び

3月号の所報ともえにおきまして、5頁の「北海道の政策課題等について要望」の記事が、「フード特区に関する勉強会」に重複して掲載されておりました。

皆様へ深くお詫び申し上げます。尚、訂正記事につきましてはホームページに掲載いたしております。